

海外MOE事例集について

- 海外MOE事例集は、以下の2つのシートから構成されている。
 - 食品添加物のリスク評価にばく露マージン(Margin of Exposure:MOE)を適用した事例を収集した「食品添加物」シート
 - 食品添加物以外(不純物等)のリスク評価にMOEを適用した事例を収集した「食品添加物以外_不純物等」シート
- 食品添加物の同定情報として、物質名(和名、英名)及び添加物番号(E番号、INS番号、JECFA番号)がある場合は、その番号を示した。
- リスク評価事例の公表資料(原本)を確認する目的から、資料のURLを示した。
- 「MOE」の項目は、有害性に関する参照値(例えばNOAELなど)と推定ばく露量の比を用いる算出結果として数値が示されている場合と、根拠と共にMOEの値或いは定性的な記載等が示されている場合がある。前者は、「計算値」の欄に「●」を示し、Excel表の計算機能を用いた算出結果を示す。後者は「入力」欄に内容を記載する。
- 1つの食品添加物について、複数のばく露シナリオによるMOEが示されている事例は(ばく露の対象であるヒトが年齢別に複数設定されている、又は添加物の使用量が標準使用量と最大使用量、食事摂取量が平均摂取量と95%タイルなど)、それらの違いを「推定ばく露量」の補足説明欄に示し、複数のMOEを示した。また複数のシナリオを示した事例は、ID番号、食品添加物名からURLまでの共通事項については、1番目のシナリオを黒字、2番目以降のシナリオを薄いピンク色で示した。
- リスク評価にMOEを適用した理由を「MOE適用根拠」欄に示し、その根拠が下記A~Fのどの根拠に該当するかを「該当」欄に示した。

A	食品添加物の発がん性が懸念される場合
B	有害性情報が、ADIを設定するには不十分である場合
C	香料の標準的な評価方法を適用した場合
D	特殊なばく露シナリオによる評価の場合
E	MOEが十分に大きいことよりADIを特定しないことを示す場合
F	不純物の安全性評価を実施した場合

- リスク評価の結論については「評価結果概要」に示した。
- 不純物等の推定ばく露量が、添加物使用量と不純物の含有量等から算出された値の場合「備考」欄に計算式を示した。

海外MOE事例集に使用されている用語(一部抜粋)

ADI	(Acceptable Daily Intake)	一日摂取許容量
GMP	(Good Manufacturing Practice)	適正製造規範
MSDI	(maximized survey-derived intake)	MSDI法
	ある地域で1年間に使用されたと考えられる香料の量を、その地域の10%の人口が均等に消費したと仮定して算出するばく露評価方法。	
NOAEL	(No Observed Adverse Effect Level)	無毒性量
SPET	(Single Portion Exposure Technique)	SPET法
	ある香料を含む食品を1品のみ毎日1食分食べるとの想定の下で摂取量を推定する方法	
TMDI	(Theoretical Maximum Daily Intake)	理論最大一日摂取量
	1年間に使用された香料を、その地域の10%の人口が均等に消費したと仮定し、香料の年間生産量を人口の10%及び補正係数で割ることにより推定する方法。	
TOS	(Total Organic Solids)	総有機固体物

№	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	71	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	14	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	Infants(4-11ヶ月)の95%スタイルばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている			
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	145	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	6.9	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	Toddlers(1-1.5歳)の平均ばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている			
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	53	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	19	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Toddlers(1-1.5歳)の95%スタイルばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	91	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	11	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Toddlers(1.5-3歳)の平均ばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	38	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	26	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Toddlers(1.5-3歳)の95%スタイルばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	105	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	9.5	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Children(4-10歳)の平均ばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	42	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	24	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Children(4-10歳)の95%スタイルばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	200	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	5	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Adolescents(11-18歳)の平均ばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	77	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	13	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Adolescents(11-18歳)の95%スタイルばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	270	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	3.7	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Adults(19-64歳)の平均ばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	100	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	10	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Adults(19-64歳)の95%スタイルばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	303	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	3.3	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Elderly(>64歳)の平均ばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
4-1	COT	2023	二酸化チタン	Titanium Dioxide	E171	—	着色料	Exposure to Titanium Dioxide in the UK population	COT	https://www.food.gov.uk/food-additives	110	●	—	1,000	mg/kg (暫定NOEL)	9.1	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	Elderly(>64歳)の95%スタイルばく露量	EFSAの二酸化チタンの再評価(2021)において、健康ベースのオクタンズ値(HBGV)が算定できなかったため、COTはE0GRT(世代性発癌試験)等の研究が否定的なNOAEL1.000mg/kg/dayを用いて参考となるMOEの計算を行った	EFSAの評価結果は適度に慎重すぎると、COTに特効的シニユを継続しながら使用を認めている		
5-1	FDA	2018	ベンゾフェノン	Benzophenone	—	—	—	合成香料及び助剤	Food Additive Regulations: Synthetic Flavoring Agents and Adjuvants Food and Drug Administration 21 CFR Parts 172 and 177 (Docket No. FDA-2015-F-4317)	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES	https://www.federalregister.gov/documents/2018/10/09/2018-21807/food-additives-regulations-synthetic-flavoring-agents-and-adjuvants	20833	●	(FDAでは20,000)	15	mg/kg (NOEL)1歳未満(1)2歳以上(2)	0.00072	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	香料として使用した場合の特定ばく露量	香料が再評価された時点で法律上(デラニー条項)の強制により使用禁止とする意図があるが、MOEが大きい人の曝露発生リスクは低いことを示すため	A	十分に大きいMOEより人の曝露リスクは小さく、公衆衛生上の懸念はない	
5-1	FDA	2018	ベンゾフェノン	Benzophenone	—	—	—	合成香料及び助剤	Food Additive Regulations: Synthetic Flavoring Agents and Adjuvants Food and Drug Administration 21 CFR Parts 172 and 177 (Docket No. FDA-2015-F-4317)	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES	https://www.federalregister.gov/documents/2018/10/09/2018-21807/food-additives-regulations-synthetic-flavoring-agents-and-adjuvants	55556	●	(FDAでは56,000)	40	mg/kg (NOEL)1歳未満(1)2歳以上(2)	0.00072	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	香料として使用した場合の特定ばく露量	香料が再評価された時点で法律上(デラニー条項)の強制により使用禁止とする意図があるが、MOEが大きい人の曝露発生リスクは低いことを示すため	A	十分に大きいMOEより人の曝露リスクは小さく、公衆衛生上の懸念はない
5-1	FDA	2018	ベンゾフェノン	Benzophenone	—	—	—	合成香料及び助剤	Food Additive Regulations: Synthetic Flavoring Agents and Adjuvants Food and Drug Administration 21 CFR Parts 172 and 177 (Docket No. FDA-2015-F-4317)	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES	https://www.federalregister.gov/documents/2018/10/09/2018-21807/food-additives-regulations-synthetic-flavoring-agents-and-adjuvants	48611	●	(FDAでは47,000)	35	mg/kg (NOEL)1歳未満(1)2歳以上(2)	0.00072	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	香料として使用した場合の特定ばく露量	香料が再評価された時点で法律上(デラニー条項)の強制により使用禁止とする意図があるが、MOEが大きい人の曝露発生リスクは低いことを示すため	A	十分に大きいMOEより人の曝露リスクは小さく、公衆衛生上の懸念はない
5-2	FDA	2018	アクリル酸エチル	Ethyl Acrylate	—	—	—	合成香料及び助剤	Food Additive Regulations: Synthetic Flavoring Agents and Adjuvants Food and Drug Administration 21 CFR Parts 172 and 177 (Docket No. FDA-2015-F-4317)	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES	https://www.federalregister.gov/documents/2018/10/09/2018-21807/food-additives-regulations-synthetic-flavoring-agents-and-adjuvants	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	香料として使用した場合の特定ばく露量(0.025g/kg/日)	香料が再評価された時点で法律上(デラニー条項)の強制により使用禁止とする意図があるが、MOEが大きい人の曝露発生リスクは低いことを示すため	A	曝露の発生リスクが香料の種類に限定されており、他の香料の危険性はない		
5-3	FDA	2018	メチルエウゲノール	methyl eugenol	—	—	—	合成香料及び助剤	Food Additive Regulations: Synthetic Flavoring Agents and Adjuvants Food and Drug Administration 21 CFR Parts 172 and 177 (Docket No. FDA-2015-F-4317)	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES	https://www.federalregister.gov/documents/2018/10/09/2018-21807/food-additives-regulations-synthetic-flavoring-agents-and-adjuvants	64,167	●	(FDAでは64,000)	8	mg/kg (BMD ₀₁)	0.00012	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	香料として使用した場合の特定ばく露量(0.12g/kg/日)	香料が再評価された時点で法律上(デラニー条項)の強制により使用禁止とする意図があるが、MOEが大きい人の曝露発生リスクは低いことを示すため	A	十分に大きいMOEより人の曝露リスクは小さく、公衆衛生上の懸念はない
5-4	FDA	2018	ミルセン	Myrcene	—	—	—	合成香料及び助剤	Food Additive Regulations: Synthetic Flavoring Agents and Adjuvants Food and Drug Administration 21 CFR Parts 172 and 177 (Docket No. FDA-2015-F-4317)	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES	https://www.federalregister.gov/documents/2018/10/09/2018-21807/food-additives-regulations-synthetic-flavoring-agents-and-adjuvants	52,033	●	(FDAでは52,000)	64	mg/kg (BMD ₀₁)4歳未満(1)2歳以上(2)	0.00123	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	香料として使用した場合の特定ばく露量(1.23g/kg/日)	香料が再評価された時点で法律上(デラニー条項)の強制により使用禁止とする意図があるが、MOEが大きい人の曝露発生リスクは低いことを示すため	A	十分に大きいMOEより人の曝露リスクは小さく、公衆衛生上の懸念はない
5-5	FDA	2018	プテゴン	Pulegone	—	—	—	合成香料及び助剤	Food Additive Regulations: Synthetic Flavoring Agents and Adjuvants Food and Drug Administration 21 CFR Parts 172 and 177 (Docket No. FDA-2015-F-4317)	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES	https://www.federalregister.gov/documents/2018/10/09/2018-21807/food-additives-regulations-synthetic-flavoring-agents-and-adjuvants	1,673,750	●	(FDAでは1,700,000)	13	mg/kg (NOEL)1歳未満(1)2歳以上(2)	0.000008	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	香料として使用した場合の特定ばく露量(0.008g/kg/日)	香料が再評価された時点で法律上(デラニー条項)の強制により使用禁止とする意図があるが、MOEが大きい人の曝露発生リスクは低いことを示すため	A	十分に大きいMOEより人の曝露リスクは小さく、公衆衛生上の懸念はない
5-6	FDA	2018	ピリジン	Pyridine	—	—	—	合成香料及び助剤	Food Additive Regulations: Synthetic Flavoring Agents and Adjuvants Food and Drug Administration 21 CFR Parts 172 and 177 (Docket No. FDA-2015-F-4317)	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES	https://www.federalregister.gov/documents/2018/10/09/2018-21807/food-additives-regulations-synthetic-flavoring-agents-and-adjuvants	368,421	●	(FDAでは370,000)	14	mg/kg (NOEL)1歳未満(1)2歳以上(2)	0.000038	—	mg/kg/日	—	—	—	—	—	—	香料として使用した場合の特定ばく露量(0.038g/kg/日)	香料が再評価された時点で法律上(デラニー条項)の強制により使用禁止とする意図があるが、MOEが大きい人の曝露発生リスクは低いことを示すため	A	十分に大きいMOEより人の曝露リスクは小さく、公衆衛生上の懸念はない

*デラニー条項: 米国連邦食品医薬品化粧品法 (The United States Federal Food, Drug, and Cosmetic Act) に1958年に追加された条項で、「動物や人にのみを引き起こすと見られる物質は食品添加物として使用できない」とするもの。食品添加物として使用した場合に、この制限に有害影響を及ぼすかどうかは確認されていない場合が含まれる。

別添資料2-2 海外MOE事例集(食品添加物以外_不純物等)

ID	評価機関	公開年	物質名(和名)	物質名(英名)	E番号	INS番号	JECFA番号	用途	タイトル	評価機関/著者	URL	対象物質	MOE			有害性 参照値			特定ばく露量			MOE適用根拠	該当	評価結果概要	備考	
													値		計算	参照値	単位	値	単位	補足説明	MOE適用根拠					
													値	計算	参照値	単位	値	単位	補足説明	値	単位					補足説明
1-2	EFSA	2024	カードラン	curdian	—	INS 424	—	調味料・乳化剤, 安定剤, 増粘剤	Safety evaluation of curdian as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2024-02655	乳(Pb)	0.7	●	—	0.5	μg/kg/日 (BMD _{L01})	0.72	μg/kg/日	幼児(12~35ヶ月)(平均体重14.6mg/kg/日, 体重濃度0.5mg/kgのとこ)	成人(可能なシナリオには, 報告方法や曝露物の特性評価など, 一定の限界があるため, ADIを導出することはできない)	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	最大ばく露シナリオではMOEが1未満となる可能性あり	総ばく露量=カードランばく露量×体重濃度=144.1(mg/kg/日)×0.5(mg/kg)=0.72 μg/kg/日	
1-2	EFSA	2024	カードラン	curdian	—	INS 424	—	調味料・乳化剤, 安定剤, 増粘剤	Safety evaluation of curdian as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2024-02655	乳(Pb)	1.3	●	—	0.5	μg/kg/日 (BMD _{L01})	0.372	μg/kg/日	幼児(12~35ヶ月)(平均体重14.6mg/kg/日, 体重濃度0.5mg/kgのとこ)	成人(可能なシナリオには, 報告方法や曝露物の特性評価など, 一定の限界があるため, ADIを導出することはできない)	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	最大ばく露シナリオではMOEが1未満となる可能性あり	総ばく露量=カードランばく露量×体重濃度=74.4(mg/kg/日)×0.2(mg/kg)=14.1(mg/kg/日)×0.2(mg/kg)=0.29 μg/kg/日	
1-2	EFSA	2024	カードラン	curdian	—	INS 424	—	調味料・乳化剤, 安定剤, 増粘剤	Safety evaluation of curdian as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2024-02655	乳(Pb)	1.7	●	—	0.5	μg/kg/日 (BMD _{L01})	0.29	μg/kg/日	幼児(12~35ヶ月)(平均体重14.6mg/kg/日, 体重濃度0.2mg/kgのとこ)	成人(可能なシナリオには, 報告方法や曝露物の特性評価など, 一定の限界があるため, ADIを導出することはできない)	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	最大ばく露シナリオではMOEが1未満となる可能性あり	総ばく露量=カードランばく露量×体重濃度=144.1(mg/kg/日)×0.2(mg/kg)=0.29 μg/kg/日	
1-2	EFSA	2024	カードラン	curdian	—	INS 424	—	調味料・乳化剤, 安定剤, 増粘剤	Safety evaluation of curdian as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2024-02655	乳(Pb)	3.4	●	—	0.5	μg/kg/日 (BMD _{L01})	0.149	μg/kg/日	幼児(12~35ヶ月)(平均体重14.6mg/kg/日, 体重濃度0.2mg/kgのとこ)	成人(可能なシナリオには, 報告方法や曝露物の特性評価など, 一定の限界があるため, ADIを導出することはできない)	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	最大ばく露シナリオではMOEが1未満となる可能性あり	総ばく露量=カードランばく露量×体重濃度=74.4(mg/kg/日)×0.2(mg/kg)=0.15 μg/kg/日	
1-2	EFSA	2024	カードラン	curdian	—	INS 424	—	調味料・乳化剤, 安定剤, 増粘剤	Safety evaluation of curdian as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2024-02655	ヒ素(As)	0.02	●	—	0.06	μg/kg/日 (BMD _{L01})	2.88	μg/kg/日	幼児(12~35ヶ月)(平均体重14.6mg/kg/日, 体重濃度2mg/kgのとこ)	成人(可能なシナリオには, 報告方法や曝露物の特性評価など, 一定の限界があるため, ADIを導出することはできない)	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	総ばく露量=カードランばく露量×ヒ素濃度=144.1(mg/kg/日)×2(mg/kg)=2.88 μg/kg/日	
1-2	EFSA	2024	カードラン	curdian	—	INS 424	—	調味料・乳化剤, 安定剤, 増粘剤	Safety evaluation of curdian as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2024-02655	ヒ素(As)	0.04	●	—	0.06	μg/kg/日 (BMD _{L01})	1.49	μg/kg/日	幼児(12~35ヶ月)(平均体重14.6mg/kg/日, 体重濃度2mg/kgのとこ)	成人(可能なシナリオには, 報告方法や曝露物の特性評価など, 一定の限界があるため, ADIを導出することはできない)	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	総ばく露量=カードランばく露量×ヒ素濃度=74.4(mg/kg/日)×2(mg/kg)=1.49 μg/kg/日	
1-2	EFSA	2024	カードラン	curdian	—	INS 424	—	調味料・乳化剤, 安定剤, 増粘剤	Safety evaluation of curdian as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2024-02655	ヒ素(As)	0.4	●	—	0.06	μg/kg/日 (BMD _{L01})	0.14	μg/kg/日	幼児(12~35ヶ月)(平均体重14.6mg/kg/日, 体重濃度0.1mg/kgのとこ)	成人(可能なシナリオには, 報告方法や曝露物の特性評価など, 一定の限界があるため, ADIを導出することはできない)	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	総ばく露量=カードランばく露量×ヒ素濃度=144.1(mg/kg/日)×0.1(mg/kg)=0.14 μg/kg/日	
1-2	EFSA	2024	カードラン	curdian	—	INS 424	—	調味料・乳化剤, 安定剤, 増粘剤	Safety evaluation of curdian as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2024-02655	ヒ素(As)	0.8	●	—	0.06	μg/kg/日 (BMD _{L01})	0.074	μg/kg/日	幼児(12~35ヶ月)(平均体重14.6mg/kg/日, 体重濃度0.1mg/kgのとこ)	成人(可能なシナリオには, 報告方法や曝露物の特性評価など, 一定の限界があるため, ADIを導出することはできない)	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	総ばく露量=カードランばく露量×ヒ素濃度=144.1(mg/kg/日)×0.074(mg/kg)=0.074 μg/kg/日	
1-3	EFSA	2010	ポリビニルピロリドン-酢酸ビニル共重合体 (PVP(VA))	polyvinylpyrrolidone-vinyl acetate copolymer	—	—	—	食品パッケージング	Scientific Opinion on the safety of polyvinylpyrrolidone-vinyl acetate copolymer for the proposed uses as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2010-10-1938	酢酸ビニル	36,666,667	●	(EFSAでは 3,700,000)	440	mg/kg/日 (BMD _{L01})	0.000012	mg/kg/日	成人の想定ばく露量	発がん性の懸念からMOEを適用したから	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	—	
1-3	EFSA	2010	ポリビニルピロリドン-酢酸ビニル共重合体 (PVP(VA))	polyvinylpyrrolidone-vinyl acetate copolymer	—	—	—	食品パッケージング	Scientific Opinion on the safety of polyvinylpyrrolidone-vinyl acetate copolymer for the proposed uses as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2010-10-1938	酢酸ビニル	55,000,000	●	(EFSAでは 6,000,000)	440	mg/kg/日 (BMD _{L01})	0.000008	mg/kg/日	子どもの想定ばく露量	発がん性の懸念からMOEを適用したから	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	—	
1-3	EFSA	2010	ポリビニルピロリドン-酢酸ビニル共重合体 (PVP(VA))	polyvinylpyrrolidone-vinyl acetate copolymer	—	—	—	食品パッケージング	Scientific Opinion on the safety of polyvinylpyrrolidone-vinyl acetate copolymer for the proposed uses as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2010-10-1938	ヒドロキシ	23,750	●	(EFSAでは 23,000)	0.57	mg/kg/日 (BMD _{L01})	0.000024	mg/kg/日	成人の想定ばく露量	発がん性の懸念からMOEを適用したから	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	—	
1-3	EFSA	2010	ポリビニルピロリドン-酢酸ビニル共重合体 (PVP(VA))	polyvinylpyrrolidone-vinyl acetate copolymer	—	—	—	食品パッケージング	Scientific Opinion on the safety of polyvinylpyrrolidone-vinyl acetate copolymer for the proposed uses as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2010-10-1938	ヒドロキシ	35,625	●	(EFSAでは 36,000)	0.57	mg/kg/日 (BMD _{L01})	0.000016	mg/kg/日	子どもの想定ばく露量	発がん性の懸念からMOEを適用したから	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	—	
1-4	EFSA	2012	植物性炭素	vegetable carbon	153	—	—	着色料	Scientific Opinion on the re-evaluation of vegetable carbon (E 153) as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2012-10-2592	ベンゾピレン(BaP)	2,500,000	●	(EFSAでは 2507~18907)	0.07	mg/kg/日 (BMD _{L01})	2.8E-08	mg/kg/日	成人の最大ばく露量	発がん性の懸念からMOEを適用したから	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	—	
1-4	EFSA	2012	植物性炭素	vegetable carbon	153	—	—	着色料	Scientific Opinion on the re-evaluation of vegetable carbon (E 153) as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2012-10-2592	ベンゾピレン(BaP)	18,918,919	●	(EFSAでは 2507~18907)	0.07	mg/kg/日 (BMD _{L01})	3.7E-09	mg/kg/日	成人の平均ばく露量	発がん性の懸念からMOEを適用したから	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	—	
1-4	EFSA	2012	植物性炭素	vegetable carbon	153	—	—	着色料	Scientific Opinion on the re-evaluation of vegetable carbon (E 153) as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2012-10-2592	ベンゾピレン(BaP)	2,413,793	●	(EFSAでは 907~2407)	0.07	mg/kg/日 (BMD _{L01})	2.9E-08	mg/kg/日	子どもの最大ばく露量	発がん性の懸念からMOEを適用したから	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	—	
1-4	EFSA	2012	植物性炭素	vegetable carbon	153	—	—	着色料	Scientific Opinion on the re-evaluation of vegetable carbon (E 153) as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2012-10-2592	ベンゾピレン(BaP)	886,076	●	(EFSAでは 907~2407)	0.07	mg/kg/日 (BMD _{L01})	7.9E-08	mg/kg/日	子どもの平均ばく露量	発がん性の懸念からMOEを適用したから	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	B, F	MOEが極めて大きく, MOEが1未満となる可能性あり	—	
1-5	EFSA	2017	亜硝酸カリウム	potassium nitrite	249	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2017-10-4786	ニトロソアミン(内訳: NDMA+NDEA)	421,875	●	(EFSAでは 4.2E+05)	0.027	mg/kg/日 (BMD _{L01})	6.40E-08	mg/kg/日	ADI(1日当たり 0.07mg/kg/日)を超過する曝露物の可能性あり	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	外発性ニトロソアミンについては, MOEが遺伝毒性発がん物質について懸念が低いとされる1000を超過した	F	—	—	
1-5	EFSA	2017	亜硝酸カリウム	potassium nitrite	249	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2017-10-4786	ニトロソアミン(内訳: NDMA+NDEA)	3,103	●	(EFSAでは 3100)	0.018	mg/kg/日 (NDEA/BMD _{L01})	5.80E-06	mg/kg/日	5.8mg/kg/日(12~35ヶ月の思いつく最大の曝露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	外発性ニトロソアミンについては, 遺伝毒性発がん物質としてMOEが1000を下回り, 遺伝毒性発がん物質が懸念が低いとされたとされた	F	—	—	
1-5	EFSA	2017	亜硝酸カリウム	potassium nitrite	249	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2017-10-4786	ニトロソアミン(内訳: NDMA+NDEA)	2,169	●	(EFSAでは 2200)	0.018	mg/kg/日 (NDEA/BMD _{L01})	8.30E-06	mg/kg/日	8.3mg/kg/日(12~35ヶ月の思いつく最大の曝露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	外発性ニトロソアミンについては, 遺伝毒性発がん物質としてMOEが1000を下回り, 遺伝毒性発がん物質が懸念が低いとされたとされた	F	—	—	
1-5	EFSA	2017	亜硝酸カリウム	potassium nitrite	249	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2017-10-4786	ニトロソアミン(内訳: NDMA+NDEA)	2,466	●	(EFSAでは 2500)	0.018	mg/kg/日 (NDEA/BMD _{L01})	7.30E-06	mg/kg/日	7.3mg/kg/日(3~9ヶ月の思いつく最大の曝露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	外発性ニトロソアミンについては, 遺伝毒性発がん物質としてMOEが1000を下回り, 遺伝毒性発がん物質が懸念が低いとされたとされた	F	—	—	
1-5	EFSA	2017	亜硝酸カリウム	potassium nitrite	249	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2017-10-4786	ニトロソアミン(内訳: NDMA+NDEA)	2,857	●	(EFSAでは 2800)	0.018	mg/kg/日 (NDEA/BMD _{L01})	6.30E-06	mg/kg/日	6.3mg/kg/日(10~17ヶ月の思いつく最大の曝露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	外発性ニトロソアミンについては, 遺伝毒性発がん物質としてMOEが1000を下回り, 遺伝毒性発がん物質が懸念が低いとされたとされた	F	—	—	
1-5	EFSA	2017	亜硝酸カリウム	potassium nitrite	249	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2017-10-4786	ニトロソアミン(内訳: NDMA+NDEA)	3,529	●	(EFSAでは 3500)	0.018	mg/kg/日 (NDEA/BMD _{L01})	5.10E-06	mg/kg/日	5.1mg/kg/日(18~64ヶ月の思いつく最大の曝露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	外発性ニトロソアミンについては, 遺伝毒性発がん物質としてMOEが1000を下回り, 遺伝毒性発がん物質が懸念が低いとされたとされた	F	—	—	
1-5	EFSA	2017	亜硝酸カリウム	potassium nitrite	249	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2017-10-4786	ニトロソアミン(内訳: NDMA+NDEA)	5,806	●	(EFSAでは 5800)	0.018	mg/kg/日 (NDEA/BMD _{L01})	3.10E-06	mg/kg/日	3.1mg/kg/日(6~54ヶ月の思いつく最大の曝露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	外発性ニトロソアミンについては, 遺伝毒性発がん物質としてMOEが1000を下回り, 遺伝毒性発がん物質が懸念が低いとされたとされた	F	—	—	
1-6	EFSA	2017	亜硝酸ナトリウム	sodium nitrite	250	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2933/efsa-2017-10-4786	ニトロソアミン(内訳: NDMA)	421,875	●	(EFSAでは 4.2E+05)	0.027	mg/kg/日 (BMD _{L01})	6.40E-08	mg/kg/日	ADI(1日当たり 0.07mg/kg/日)を超過する曝露物の可能性あり	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	外発性ニトロソアミンについては, MOEが遺伝毒性発がん物質について懸念が低いとされる1000を超過した	F	—	—	

1-4	EFSA	2017	亜硝酸ナトリウム (E 250)	sodium nitrite	250	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2017.4786	ニトロソアミン(外傷性、NDMA+NDEA)	3,103	●	(EFSAでは 3100)	0.018	mg/kg/日 (NDEAの BMDL ₀₁)	5,80E-06	mg/kg/日	5.6mg/kg/日(12歳-17歳の誕生日に基づく最大の暴露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	F	外傷性ニトロソアミンについては、高ばく露集団では全ての発癌種でMOEが10000を下回り、高レベル摂取時に懸念が残る可能性があると考えられた	—
1-6	EFSA	2017	亜硝酸ナトリウム	sodium nitrite	230	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2017.4786	ニトロソアミン(外傷性、NDMA+NDEA)	2,169	●	(EFSAでは 2200)	0.018	mg/kg/日 (NDEAの BMDL ₀₁)	8,30E-06	mg/kg/日	8.3mg/kg/日(12歳-17歳の誕生日に基づく最大の暴露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	F	外傷性ニトロソアミンについては、高ばく露集団では全ての発癌種でMOEが10000を下回り、高レベル摂取時に懸念が残る可能性があると考えられた	—
1-6	EFSA	2017	亜硝酸ナトリウム	sodium nitrite	250	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2017.4786	ニトロソアミン(外傷性、NDMA+NDEA)	2,466	●	(EFSAでは 2500)	0.018	mg/kg/日 (NDEAの BMDL ₀₁)	7,30E-06	mg/kg/日	7.3mg/kg/日(13-17歳の誕生日に基づく最大の暴露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	F	外傷性ニトロソアミンについては、高ばく露集団では全ての発癌種でMOEが10000を下回り、高レベル摂取時に懸念が残る可能性があると考えられた	—
1-6	EFSA	2017	亜硝酸ナトリウム	sodium nitrite	230	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2017.4786	ニトロソアミン(外傷性、NDMA+NDEA)	2,857	●	(EFSAでは 2800)	0.018	mg/kg/日 (NDEAの BMDL ₀₁)	6,30E-06	mg/kg/日	6.3mg/kg/日(10-17歳の誕生日に基づく最大の暴露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	F	外傷性ニトロソアミンについては、高ばく露集団では全ての発癌種でMOEが10000を下回り、高レベル摂取時に懸念が残る可能性があると考えられた	—
1-6	EFSA	2017	亜硝酸ナトリウム	sodium nitrite	250	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2017.4786	ニトロソアミン(外傷性、NDMA+NDEA)	3,529	●	(EFSAでは 3500)	0.018	mg/kg/日 (NDEAの BMDL ₀₁)	5,10E-06	mg/kg/日	5.1mg/kg/日(18-64歳の誕生日に基づく最大の暴露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	F	外傷性ニトロソアミンについては、高ばく露集団では全ての発癌種でMOEが10000を下回り、高レベル摂取時に懸念が残る可能性があると考えられた	—
1-6	EFSA	2017	亜硝酸ナトリウム	sodium nitrite	230	—	—	その他添加物	Re-evaluation of potassium nitrite (E 249) and sodium nitrite (E 250) as food additives	EFSA Panel on Food Additives and Nutrient Sources added to Food (ANS)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2017.4786	ニトロソアミン(外傷性、NDMA+NDEA)	5,806	●	(EFSAでは 5800)	0.018	mg/kg/日 (NDEAの BMDL ₀₁)	3,10E-06	mg/kg/日	3.1mg/kg/日(>65歳の誕生日に基づく最大の暴露)	ニトロソアミンが遺伝毒性発がん物質だから	F	外傷性ニトロソアミンについては、高ばく露集団では全ての発癌種でMOEが10000を下回り、高レベル摂取時に懸念が残る可能性があると考えられた	—
1-7	EFSA	2021	ポリデキストロース	polydextrose (E 1200)	1200	—	—	増量料(官能特性に重要でない)、安定剤、増粘剤	Re-evaluation of polydextrose (E 1200) as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2021.6363	ヒ素(As)	0.51	●	(EFSAでは 0.5-14)	0.0003	mg/kg/日 (ヒ素の BMDL ₀₁) 下層	5,90E-04	mg/kg/日	5,900mg/kg/日 (E1200最大ばく露量)に、1.0mg/kg含有	不純物の発がん性の懸念から	F	ヒ素のMOEは極めて小さく、安全上の懸念あり	—
1-7	EFSA	2021	ポリデキストロース	polydextrose (E 1200)	1200	—	—	増量料(官能特性に重要でない)、安定剤、増粘剤	Re-evaluation of polydextrose (E 1200) as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2021.6363	ヒ素(As)	13.6	●	(EFSAでは 0.5-14)	0.008	mg/kg/日 (ヒ素の BMDL ₀₁) 下層	5,90E-04	mg/kg/日	5,900mg/kg/日 (E1200最大ばく露量)に、1.0mg/kg含有	不純物の発がん性の懸念から	F	ヒ素のMOEは極めて小さく、安全上の懸念あり	—
1-7	EFSA	2021	ポリデキストロース	polydextrose (E 1200)	1200	—	—	増量料(官能特性に重要でない)、安定剤、増粘剤	Re-evaluation of polydextrose (E 1200) as a food additive	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2021.6363	鉛(Pb)	8.47	●	(EFSAでは 6,5)	0.0005	mg/kg/日 (鉛のBMDL ₀₁) 上層	5,90E-05	mg/kg/日	5,900mg/kg/日 (E1200最大ばく露量)に、0.1mg/kg含有	不純物の発がん性の懸念から	F	鉛のMOEは極めて小さく、安全上の懸念あり	—
1-17	EFSA	2023	キサンタンガム	xanthan gum	415	—	—	その他添加物	SCIENTIFIC OPINION Re-evaluation of xanthan gum (E 415) as a food additive in foods for infants below 16 weeks of age and follow-up of its re-evaluation as a food additive for uses in foods for all population groups	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2023.7921	鉛(Pb)	0.81	●	(EFSAでは 0.8)	0.0005	mg/kg/日 (鉛のBMDL ₀₁) 上層	0,00062	mg/kg/日	312mg/kg/日(E415最大ばく露量)に、2mg/kg含有	不純物として含まれる有害物質のリスクを評価し、既存の規制値が適切かどうかを確認するから	D, F	E415の生後16歳までの乳児用調整粉への最大ばく露量の95%タイルに基づく暴露312mg/kg/日に、既存の規制値2mg/kg含有の可能性から、MOEは1000.6となり、規制値を引く必要があるとした	—
1-17	EFSA	2023	キサンタンガム	xanthan gum	415	—	—	その他添加物	SCIENTIFIC OPINION Re-evaluation of xanthan gum (E 415) as a food additive in foods for infants below 16 weeks of age and follow-up of its re-evaluation as a food additive for uses in foods for all population groups	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2023.7921	ヒ素(As)	1.92	●	(EFSAでは 1000.6よりずっと低い)	0.0003	mg/kg/日 (ヒ素の BMDL ₀₁) 下層	0,000156	mg/kg/日	312mg/kg/日(E415最大ばく露量)に、0.5mg/kg含有	不純物として含まれる有害物質のリスクを評価し、既存の規制値が適切かどうかを確認するから	D, F	E415の生後16歳までの乳児用調整粉への最大ばく露量の95%タイルに基づく暴露312mg/kg/日に、規制値0.5mg/kg含有する場合は、MOEは1000.6よりずっと低くなり、新しい規制値を導入すべきとした	—
1-17	EFSA	2023	キサンタンガム	xanthan gum	415	—	—	その他添加物	SCIENTIFIC OPINION Re-evaluation of xanthan gum (E 415) as a food additive in foods for infants below 16 weeks of age and follow-up of its re-evaluation as a food additive for uses in foods for all population groups	EFSA Panel on Food Additives and Flavourings (FAF)	https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.2903/j.efsa.2023.7921	ヒ素(As)	51	●	(EFSAでは 1000.6よりずっと低い)	0.008	mg/kg/日 (ヒ素の BMDL ₀₁) 上層	0,000156	mg/kg/日	312mg/kg/日(E415最大ばく露量)に、0.5mg/kg含有	不純物として含まれる有害物質のリスクを評価し、既存の規制値が適切かどうかを確認するから	D, F	E415の生後16歳までの乳児用調整粉への最大ばく露量の95%タイルに基づく暴露312mg/kg/日に、規制値0.5mg/kg含有する場合は、MOEは1000.6よりずっと低くなり、新しい規制値を導入すべきとした	—
2-55	JECFA	2022	安息香酸、その塩および誘導体(雑薬)	Benzoic acid, its salts and derivatives	—	—	—	食品保存料、香料	Safety evaluation of certain food additives WHO FOOD ADDITIVES SERIES: 83	Ninety-second meeting of the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (UECFA)	https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/36468/9/9789292014833/enm.pdf?sequence=1	ベンゼン	2,200,000	●	—	17.6	mg/kg/日 (BMDL ₀₁)	0,000008	mg/kg/日	(飲料中に発生するベンゼン)8mg/kg/日	安息香酸を含む飲料において、微量のベンゼン生成物としてベンゼンの発生が知られており、遺伝毒性発がん物質であることからベンゼン-ジールの運用が適切とされたから	F	飲料にかけ200万というMOEより、公衆衛生上の懸念は殆どないと判断された	—